

リセオのひかり



2019年 1月7日
リセオ日本コース 学校だより
NO. 10 文責 永田 博巳

○2019年が始まりました。

今年元号である平成が終わり、新しい元号にかわる年です。予定では4月1日に発表されると聞いております。どんな元号になるのか楽しみです。

さて、今年干支でいうと己亥（つちのとい）です。子どもたちは新しい年には、新しい目標を立てると思います。「猪突猛進」という言葉があるように、一人一人がたてた目標に向かって真っすぐに進んでほしいと願っています。



○WBC 世界チャンピオン亀田和毅（ともき）選手来校！



昨年の12月10日、WBC 世界チャンピオン亀田和毅（ともき）選手が「先輩に学ぶ」事業の一環として、日本コースを訪問されました。

この訪問が実現したのは、12月5日に大使公邸で天皇誕生日レセプションが行われ、偶然、亀田選手とお会いしたのがきっかけです。

PTA 保護者からも、是非リセオに来ていただき、子どもたちにお話を聞かせてやってほしいとの熱い要望もあったので亀田選手にお願い、快諾いただきました。

講演は2部形式で、1部が小1～小5、2部が小6～中3までで、児童・生徒代表の挨拶、歓迎の歌、亀田選手のプロフィール紹介、亀田選手のお話、デモンストラクション、質疑応答、写真撮影と少ない時間でしたが、中身の濃い内容となりました。

亀田選手は4歳からボクシングを始め、お父さんの勧めで、15歳の時、単身メキシコに来て、言葉も何もわからない中で本格的にボクシングに取り組みました。そしてメキシコでプロデビューし、2013年フィリピンで世界チャンピオンになりました。メキシコに来た当初は、言葉も分からず、料理も慣れなかったが、生活していくうちに嫌いな食べ物も好きになっていったと言われました。

亀田選手の言葉

- ①毎日練習することが一番つらい。
- ②海外で学ぶ日本コースの子どもたちがうらやましい。
- ③皆に感動を与えられるボクシングはすごい。
- ④一日に8時間は練習してる。
- ⑤3人兄弟で力を合わせたからこそ、今の自分がある。
- ⑥夢を持たないで、人生のプランを考えないとモチベーションは保てない。
- ⑦おやじの夢は、3人兄弟がそれぞれ世界チャンピオンになることだった。この夢も達成できた。また自分の夢も達成できたのは家族の支えがあったからである。
- ⑧才能だけではトップにはいけない。
- ⑨リセオのみんなには、毎日学校へ行き、仲間と学習できることのありがたみを実感しながら、日々懸命に生きてほしい。
- ⑩自分の今後の目標は、世界で認められるボクサーになること。

世界で100年後も200年後も語り継がれるようなボクサーになりたい。



講演終了後、学校を去られる時、メキシコに日本メキシコ学院のような素晴らしい学校があるとは知らなかった。自分の子どもができたなら是非通わせたいと語っておられたのが非常に印象に残りました。

今後もこのような貴重な出会いを大切に、学校経営を進めていきたいと思っております。